

Sep. 5, 1993 初めての石垣島：バナナ植物公園

バナナ公園裏手の道沿いにはスジグロカバマダラとリュウキュウアサギマダラが多く、ときおりベニモンアゲハがパタパタと抑揚のないはばたきで道を横切って山手の林内に消えていく。ツマベニチョウをひとまわり小さくした位の、それでもモンシロチョウなどよりはるかに大きいシロチョウの仲間が敏捷に飛び交う。ウスキシロチョウのようだ。初の出会いとなるウラナミシロチョウは不完全体だ。

Nov. 2, 1997 竹富島

「ちろりん村」という喫茶店まえにはみごとなブーゲンビリアが透きとおるような青空をバックに濃いピンクとオレンジの花をいっぱい咲かせていて、この花にウスキシロチョウとシロオビアゲハが求蜜に訪れている。動きのすばやいウスキシロチョウはなかなか被写体として捉えにくいので

シロオビアゲハが南国の青空に映える画面をねらってシャッターを切る。その後、蝶の多い元の小道にもどる途中の民家脇でセンニチソウを訪れたきれいなウラナミシロ



チョウの♂を2頭しとめる。ふたたび緑の濃い小道にもどり、少し羽を傷めたヤエヤマムラサキの♂がギンネムでテリトリーを張っているのをカメラに収め、昼食後にはすばやい飛翔のタイワンシロチョウの♂をネットインする。飛んでいるところはナミエシロチョウと区別しにくいだが、飛翔が直線的で上下動が小刻みなのがタイワンシロチョウだという印象である。

Sep. 19, 1998 浦内：月が浜

7時30分からという民宿での朝食より早出したくて変速機つき軽快自転車を借りて7時15分出発でケ浜に向かう。まだ朝日が届かないので蝶はほとんど活動していない。本道を離れて防風林に入れる小道に踏み込む。細かい砂が厚みをもって覆っているために、自転車を押して林に入っていく。右に植物栽培園、左にはクローバーの一種が茂る草地内に点々と若木が植えられた広い区画がある。ロープを張って立ち入りを禁止しているが、ウラナミシロチョウが群れをなして追飛しており、そっと入り込んで新鮮個体を追う。



Sep. 19, 1998
西表島月が浜
ウラナミシロチョウ
leg. M. Shimazaki